

1. 本園の教育目標

人間の基礎が培われるかけがえのない幼児期に、整ったよりよい保育環境の中で、豊かで多様な経験を積み、周囲とのかかわりを持ちながら、心身のバランスの取れた子どもたちの育成を目指すという教育理念に基づき、以下の教育目標を掲げるものとする。

- (1) すこやかで、たくましい心身を養う。
- (2) ゆたかな表現力と、創造力を育てる。
- (3) 考える力、考えるよろこびを培う。
- (4) お友達とかかわって遊ぶよろこびを育てる。
- (5) 豊かで多様な経験をすることによって、個性を伸ばし、個々の可能性を見いだす。
- (6) 子どもたちにとって、よりよい保育環境を整備する。

2. 重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領を根幹に置き、園の教育理念・教育目標に基づいて、各保育者が教職員間の共通理解をはかる。また保育者自身の保育を見つめ直し、教育の質の向上に努める。さらには、保育内容の改善に主体的に取り組む、本園が担う幼児教育の役割について考えていくことを重点項目とする。

3. 評価項目の設定・取り組み状況

評価項目	有効性の指標	計画の方法、手段	取り組み状況
1 幼稚園教育要領および園の教育理念・教育目標にしたがい、保育カリキュラムを編成する	年間指導計画	年間保育カリキュラムの作成	幼稚園教育要領および園の教育理念・教育目標をふまえた年間保育カリキュラムを作成している。さらに学年会議で詳細な週間指導計画をたてている。
	週間指導計画	週間指導計画の作成	
	学年会議	議事録に記入	
	職員会議	議事録に記入	
2 教職員間での意見交換を充実させる	学年会議	議事録に記入	週1回以上の学年会議、毎月の職員全体会議に加え、各行事のための事前会議や反省会を実施するなど意思伝達の機会を多く設けている。
	職員会議	議事録に記入	
	行事記録／反省表	行事記録／反省表の作成	
3 教職員間で園の教育理念・教育目標についての共通理解を図る	学年会議	議事録に記入	園の教育理念・教育目標を全職員で再確認し、年1回の内部監査を実施することで各自の理解度を図るものとしている。
	職員会議	議事録に記入	
	内部監査の是正率	内部監査実施報告書に記入	
	行事記録／反省表	行事記録／反省表に記入	
4 日々の保育を振り返り、各自の保育を見直す	保育指導の検査	主活動サービス検査シートに記入	主活動サービス検査シートに加え、指導計画通りにできているか、また改善点はないかを日々自己評価し、次の保育に活かせるようにしている。
	週間指導計画の実施結果の不適合件数	週間指導計画の実施結果の作成	
5 園児の個性を読み取り、適宜、個別の保育指導計画を考える	教育目標設定／実施の達成率	品質目標設定／実施報告書に記入	個々に応じた園児の発達や興味を伸ばすことで、子どもの成長を援助できるようにしている。また、個々の性格をきめ細かく知ることによって新たな発見を園児と共に共感できるようにしている。
	幼稚園幼児指導要録(指導に関する記録)	幼稚園幼児指導要録(指導に関する記録)に記入	
	幼稚園幼児指導要録(学籍に関する記録)	幼稚園幼児指導要録(学籍に関する記録)に記入	
6 教職員の質の向上のために、園内外での研修実施・参加を充実させる	職員研修の実施状況	職員研修計画／報告書に記入	各教科の園内研修に加えて園外研修にもすすんで参加し、各研修資料を職員全員で精査することで各々の質の向上をはかる。

7	教育環境の整備をはかる	是正処置の効果	是正処置報告書の作成	預かり保育の送りのバスコースを増便し、停留所の見直しをした。課外チアスクールを新たに実施し、課外教室の充実をはかる。また地球温暖化の影響を受け、戸外あそびなどの時間調整を行い、ピロティの活用を行う。夏季のプールの水温が高くなってきているので、次年度以降は水温冷却の対処を講じるようにする。
		正課特別指導記録簿	正課特別指導記録簿に記入	
		アウトソースへの指示件数	アウトソース指示票の作成	
		課外教室活動記録簿	課外教室活動記録簿に記入	
8	園児の成長を援助するためにも、園と家庭との連携をはかり、細かな情報でも共有できるようにする	保護者アンケートの結果	保護者アンケートの実施	保育者は保護者との連絡を密に取り、園児に関する細かな情報の提供、取得をする。その結果を園児の成長に繋げていけるように努める。また保護者ニーズを日々の保育に取り入れるための工夫も考えていく。
		リレーションシップ記録表	リレーションシップ記録表の作成	
9	園舎等の施設・設備について安全点検をし、幅広い資料を取得して安全な保育環境を維持する	予防処置の件数	予防処置報告書の作成	安全な保育環境を継続していくために、アウトソースも含めた職員が一体となって日々の点検を行う。教育サービスを含め、安心感のあるサービスを提供するためには個々の職員が予防処置を提唱することが不可欠である。

4. 評価項目の結果

評価項目	有効性の指標	目標値又は不適合件数	実績値	評価結果(考察、所見)	改善処置の要否	
1	幼稚園教育要領および園の教育理念・教育目標にしたがい、保育カリキュラムを編成する	年間指導計画		年間保育カリキュラムに基づき、週間指導計画が作成でき、各会議で決められた内容が保育現場で活用することができた。	要・ <input type="radio"/> 否	
	週間指導計画					
	学年会議					
	職員会議					
2	教職員間での意見交換を充実させる	学年会議		学年会議、職員会議や各行事の反省会が保育全般に浸透できた。	要・ <input type="radio"/> 否	
		職員会議				
		行事記録/反省表				
3	教職員間で園の教育理念・教育目標についての共通理解を図る	学年会議		内部監査での不適合は0件、注意・観察事項が1件あったが直ちに是正された。行事では不適合はなかった。	要・ <input type="radio"/> 否	
		職員会議				
		内部監査の是正率	是正率90%以上			100%
4	日々の保育を振り返り、各自の保育を見直す	保育指導の検査(主活動サービス検査)	20件以下	0件	要・ <input type="radio"/> 否	
		週間指導計画の実施結果の不適合件数	10件以下	1件		
5	園児の個性を読み取り、適宜、個別の保育指導計画を考える	教育目標設定/実施の達成率	達成率85%以上	98.0%	要・ <input type="radio"/> 否	
		幼稚園幼児指導要録(指導に関する記録)				
		幼稚園幼児指導要録(学籍に関する記録)				

6	教職員の質の向上のために、園内外での研修実施・参加を充実させる	職員研修の実施状況	30回以上	36回	園内研修を軸として保育レベルの維持に努めることができた。外部研修では多彩な研修を受講でき各々のレベルアップに多いに寄与することができた。	要・ <input type="radio"/> 否
7	教育環境の整備をはかる	是正処置の効果	効果率90%以上	100%	特別指導科目と課外教室での不適合はなかった。アウトソースへの指示の内2件は警備会社への指示、もう1件はスクールバス運行委託業者への指示ではあったが、園児に直接影響する内容のものではなかったが、限りなく0に近づけるように努力する。	要・ <input type="radio"/> 否
		正課特別指導記録簿				
		アウトソースへの指示件数	5件以下	3件		
		課外教室活動記録簿				
8	園児の成長を援助するためにも、園と家庭との連携をはかり、細かな情報でも共有できるようにする	保護者アンケートの結果			保護者アンケートやリレーションシップ記録表を参考にし、保護者との関係づくりをすることができた。その結果が、園児の成長の援助に繋げることができたと思われる。	要・ <input type="radio"/> 否
		リレーションシップ記録表				
9	園舎等の施設・設備について安全点検をし、幅広い資料を取得して安全な保育環境を維持する	予防処置の件数	3件以上	3件	予防処置をすることで、園児に安全な保育環境を整備することができた。ただし、目標件数をクリアできたが、更に予防処置に値する案件が多数提出されるように心がける。	要・ <input type="radio"/> 否

5. 自己評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

昨年度に引き続き、全職員が自己評価の主旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んでいる様子が見られた。今後も継続して客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、さらに充実した保育実践ができるように努力を積み重ねてほしい。職員研修では内部研修にとどまらず、積極的に外部研修にも目を向けて多方面な研修を受講することが望ましい。また内部コーチング研修の成果が表れてきており、職員間でのコミュニケーション能力が高くなり、意思伝達がスムーズにできるようになってきている。

週間指導計画の自己評価欄では、個々の保育能力が伸びてきていることがうかがえることから、引き続き保育内容の充実につけていくように努めるものとする。

施設・設備面での環境整備においては、子ども達の安全を第一に考えたうえで、豊かな教育を実践できるように整備している。また教育サービスにおいては、保護者の方々の安心と満足を念頭に置いた保育の実践を積み重ねた結果、子ども達の能力の向上に結び付けていくことができた。

現段階としての急な改善処置の必要性は見られず概ね目標を達成できたと思われるが、更なる教育活動の向上を目指す上で、都度改善を重ねていきたいと考える。

今後は公認心理士の指導のもと、インクルーシブな保育環境の整備をすることを目標にする。

6. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教職員間での協力・連携	まずは各学年内での共有体制の確立、次に園全体での共有を厳格にする。また学年にかかわらず、他の学年のカリキュラム内容も把握し、保育面での更なる協力体制を構築できるようにする。そしてフリー教員、保育補助教員の効率的な配置をすることでより高い保育を目指す。
特別支援教育	インクルーシブな保育環境を実践するために、公認心理士の先生の指導のもとに、園内で通級制度の確立を目指す。通常保育室で個別にかかわるだけでなく、個別サポートの教室で一定時間3～4人の少人数でのサポートを行うことにする。園内でサポートすることにより、集団生活での困りごとや一人ひとりの課題に沿った内容でトレーニングを行えると考えている。
預かり保育	預かり保育の実施方法の見直しに対応すべく、担当教員の配置方法なども視野に入れて適宜改善を講じるようにする。また食物アレルギー園児のための預かり保育時の「おやつ」の選定に苦勞しているの、今後も継続して工夫をしながら、おやつの購入を考えていきたい。
職員研修	内部研修は例年通りの回数を実施できた。外部研修ではオンライン研修も含め受講回数を増やしていく努力が必要である。

7. 学校関係者の評価

評 価 項 目		適 否
1	自己評価の結果内容が適切かどうか	○適・否
2	自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか	○適・否
3	重点的に取り組むことが必要な目標や計画、評価項目が適切かどうか	○適・否
4	学校運営の改善に向けた取り組みが適切かどうか	○適・否
5	公開保育の内容が適切かどうか	○適・否
公開保育の結果について		
<p>「手や身体全体を使ってあそびながら、思考力や想像力の芽を培う」と「子どもの創造性と論理的思考力を育てるめざましあそび教材」という公開保育のテーマは、みつや・めぐみ幼稚園が実践している保育内容を代表していると感じました。また実際の子どもの活動の様子を見ることにより、わかりやすいものとなっていたように感じます。良かったところ、改善すべきところなどを振り返り、評価者と参加者に配布した課題シートを参考にして、次回の公開保育ではさらに充実したものにして下さい。今回の公開保育で「あそびの種類」や「子ども達への課題」をもう少し工夫することで、子どもの活動に幅が出たのではないかと質問(意見)が出ましたが、この点も今後の課題として日々の保育に役立ててほしいものです。</p>		
総 評		
<p>インクルーシブな保育環境の整備を実践目標にされていることに、新しい保育の在り方を考えられていることが分かりました。子ども達を中心に考えられた園づくり、安心で安全な保育環境の構築を目指されています。さらに教職員の方々は全ての子ども達の喜びを身に受けて、日々保育に専念していることが感じ取れました。</p> <p>子ども達の興味・趣向や能力をわかりやすくチェックするシートや日々の保育結果を自己評価する検査シートがあることから、保育に対するきめ細かな内容が見て取れます。</p> <p>先生方の様々な研修制度の充実に加え、保育資料・教育材料の提供、職員間のコミュニケーションづくりにも工夫が見られ、保育に対する意欲や技術を伸ばすために活かされていると伺われます。</p> <p>多様な外部講師の登用により、音楽・体育・英語などの保育指導が高いレベルになるように実践されているのが受け取れます。これら先生方にとっても負担の少ない職場環境を構築されていることは、結果として充実した保育環境に繋がっているものと察します。</p> <p>多彩な行事は、子ども達の喜びと楽しみだけではなく将来の可能性を生み出すものと思われまますので、今後も現在の保育水準を維持し、かつ向上されることを望みます。</p> <p>食育教育や健康教育、預かり保育についても、継続して充実した内容になるよう推し進めて下さい。</p>		

8. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。